

大槌発

旧庁舎の解体工事を中止

大槌町の旧役場庁舎の解体工事で、廃棄物の分別の計画など事前の届けを町が県に出していなかったことが分かり、工事は中断しました。旧役場庁舎をめぐる「価値の検討が不十分」として、職員

の遺族らが工事差し止めの仮処分を申し立てています。解体の再開時期は未定です。(6/21 ニュースエコー)



大船渡発

森の大切さ学ぶ

海を育む、森の大切さを学ぼうと大船渡市立末崎中学校の生徒たちが林業を体験しました。地区内にある



国有林で森林管理署の職員の指導を受けながら、生徒たちはカラマツの苗木を植え、スギの間伐作業を行いました。そして、改めてふるさとの自然環境を守っていくことを確認していました。(6/22 ニュースエコー)

宮古発

定期フェリー第一便出港

宮古と北海道の室蘭を結ぶ定期フェリーが就航し、午前8時、第一便が宮古から出港しました。この船、シルバークィーンの収容人数は600人で、乗用車、トラックあわせて89台載せることができま

す。岩手初となるこのフェリー航路で新たな物流、観光の創出が期待されています。(6/22 ニュースエコー)



大船渡発

市の新施設で避難訓練

大船渡市中心部のかさ上げ地に今年完成した市の防災観光センターで、初めての避難訓練が行われました。

訓練は、震度7の地震が発生し、大津波警報が発表されたという想定で行われ、参加した施設の職員などあわせて38人が高台の保育園に避難しました。訓練は今後も年1回行われる予定です。(6/26 ニュースエコー)



久慈発

湾港防波堤を見学

久慈で進められている湾口防波堤工事を地元の小学生が見学しました。1990年に着工した久慈湾の湾港防波堤は全長が3800メートルで、おとし南側の1100メートルが完成。現在、北側2700mの建設が進められています。船に乗り込んで見学した児童



たちは、そのスケールの大きさに驚いた様子でした。完成は2028年度の予定です。(6/27 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

今週はFMねまらいんの及川透子さんが、7月14日(土)15日(日)に住田町の種山ヶ原の会場で開催される「ケセンロックフェスティバル」について伝えてくれました。会場がコンパクトなので、アーティストさんとの距離が近く、とても盛り上がるそうです。住田町のお母さんたちが作る「ひつつみ」もあるので、ぜひ参加してほしいと話していました。

(6/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122